



帯広交響楽団

# 第44回定期演奏会



©Spring Festival in Tokyo / Koji Iida

## プログラム

「魔弾の射手」より序曲 ウェーバー  
 ヴァイオリン協奏曲 チャイコフスキー  
 交響曲第2番 シベリウス  
 指揮／澤村杏太郎  
 ヴァイオリン／成田 達輝



©Marco Borggreve

2024年5月26日(日) 14時15分開場 15時開演  
 帯広市民文化ホール 大ホール

入場料	S 席 (1・2階指定席)	2,000円 (当日2,500円)
	A 席 (1階前4列・両サイド1階指定席)	1,500円 (当日2,000円)
	B 席 (3・4階自由席)	1,000円 (当日1,500円)
	学生席 (小・中・高生) (3・4階自由席)	500円 (当日600円)

チケット先行発売(帯広交響楽団会員・楽団員のみ) 3月17日(日) 10時～

チケット一般発売 3月24日(日) 10時 チケット取り扱い チケットらいぶ(帯広市民文化ホール内)

主催／帯広交響楽団

共催／一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団 十勝毎日新聞社

後援／帯広市教育委員会 OCTV JAGA

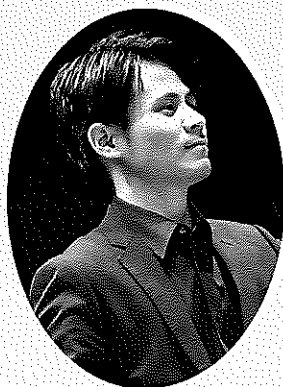
問い合わせ／帯広交響楽団事務局090-6445-7739

ホームページ<http://obikyo-1987.muse.weblife.me/>

\*未就学児は入場出来ません

\*文化ホール近隣の駐車場をご利用ください 台数に限りがありますので、時間に余裕を持ってお越しください

## 帯広交響楽団 第44 回定期演奏会



指揮  
澤村 杏太郎

*Kyotaro Sawamura*

千葉県出身。東京藝術大学指揮科を卒業後、イタリア・ミラノ音楽院「ジュゼッペ・ヴェルディ」で指揮を学び、2022年に最高点+の成績で卒業。三河正典、高関 健、山下一史、ヴィットーリオ・パリージらに師事したほか、沼尻竜典、ダニエレ・ガッティ、ファビオ・ルイーダらのマスタークラスで研鑽を積む。2019年、新国立劇場にて副指揮者として複数公演に参加。2021年、第9回 ルイーダ・マンチネリ国際オペラ指揮者コンクール第一位。副賞としてテアトロ・コッチャ（ノヴァーラ）にて新作オペラ公演を指揮。2023年、東京・春・音楽祭にて、世界中から参加希望者が集まるオーディションを突破し、リッカルド・ムーティの講習会を受講。これまで、新日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団等と共演。交響曲とオペラ、両方の分野に広いレパートリーを持ち、豊かな歌心を軸にした音楽づくりが、共演者や聴衆から高い評価を得ている。

©Spring Festival in Tokyo / Koji Iida



ヴァイオリン  
成田 達輝

*Tatsuki Narita*

©Marco Borggreve

ロン＝ティボー国際コンクール（2010）で第2位およびSACEM著作権協会賞受賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール（2012）にて第2位およびイザイ賞受賞。その超絶技巧と詩情豊かな音楽性に、「パガニーニの再来」とフランス紙で評された。

著名指揮者および国内外のオーケストラと多数共演し高い評価を得るとともに、リサイタルやジャンルにこだわらない様々なアーティストとの室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露している。

現代作曲家とのコラボレーションも積極的に行っている。カンブルラン指揮／読売日本交響楽団と演奏した一柳慧作曲「ヴァイオリンと三味線のための協奏曲」（世界初演）の公演は2022年度芸術祭大賞を受賞した。

海外での演奏活動も積極的に行っており、2018年、2019年には韓国平昌で行われた音楽祭に参加し、ソニー・ホルム、スヴェトリン・ルセフらと共演。

使用楽器は、アントニオ・ストラディヴァリ黄金期の“Tartini” 1711年製。（宗次コレクションより貸与）

## 管弦楽 帯広交響楽団 OBIHIRO Symphony Orchestra



されることが期待されています。

今年12月に第7回市民オペラ「アイーダ」を開催予定。  
2014年北海道文化団体協議会文団協賞受賞。  
2019年北海道地域文化選奨受賞。

帯広交響楽団は発足以来、継続的にプロの指導者・指揮者より指導を受け、ソリストとの共演を通してより質の高い音楽作りを目指しています。

これまでに定期演奏会を43回開催。毎年開催される「親と子のわくわく演奏会」に出演。

市民オペラ公演は6回、市民バレエ公演は5回を数え、市民との共演をしており、各公演とも数年間隔の催しですが各界からの評価も高く、今後も継続